

低圧変成器付計器とタイムスイッチなどの接続位置誤り に関する自主点検結果と再発防止対策について

1. 自主点検結果

自主点検の結果、91件の接続位置誤りを確認いたしました。

契約種別	点検件数	接続位置誤り件数
深夜電力	610 件※	27 件
融雪用電力	1,693 件	29 件
時間帯別電灯	2,850 件	35 件
合 計	5,153 件※	91 件

※福島県内の警戒区域内立入規制により確認できなかった件数（3件）を含む

2. 発生原因

電気設備の新增設工事の際に発生したものであり、当社による電気使用申込み受付時、電気工事店の接続位置誤り施工、ならびに当社による竣工検査時の配線接続確認不足によるものと判断しております。

3. 当社の対応

(1) お客さま対応

接続位置を誤ったお客さまに対して、個別に事情を説明し、ご迷惑をおかけしたことについてお詫びするとともに、適正な接続位置となるよう、低圧変成器付計器とタイムスイッチなどの改修工事を進めてまいります。

また、加算された電気料金については、お客さまと協議したうえで、精算手続きを実施いたします。

(2) 再発防止対策

書類点検や検査などの配線確認を行う関係者に対し、適正計量に係わる配線接続について周知・教育を行い、確実な点検を徹底いたします。

また、タイムスイッチが設置される契約で新增設工事があった場合は、当社社員が、新たに作成した配線チェック票で点検・確認するとともに、記録した書類を基に管理職が最終点検を行う仕組みを導入いたします。

なお、電気工事店に対しては、今回の事例について周知し、計器・引込口配線工事の適正施工を継続してお願いしていくこととしております。

以上